

1. 特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成30年4～6月）のポイント

※特定本邦事業者

- 日本航空：JAL（日本航空、ジェイエア、北海道エアシステム）
- 全日本空輸：ANA（全日本空輸、ANAウイングス）
- 日本トランスオーシャン航空：JTA
- スカイマーク：SKY
- AIRDO：ADO
- ラジエール：SNJ
- スターフライヤー：SFJ
- Peach Aviation：APJ
- ジェットスター・ジャパン：JJP
- ハネエア：VNL
- 春秋航空日本：SJO
- エアアジア・ジャパン：WAJ

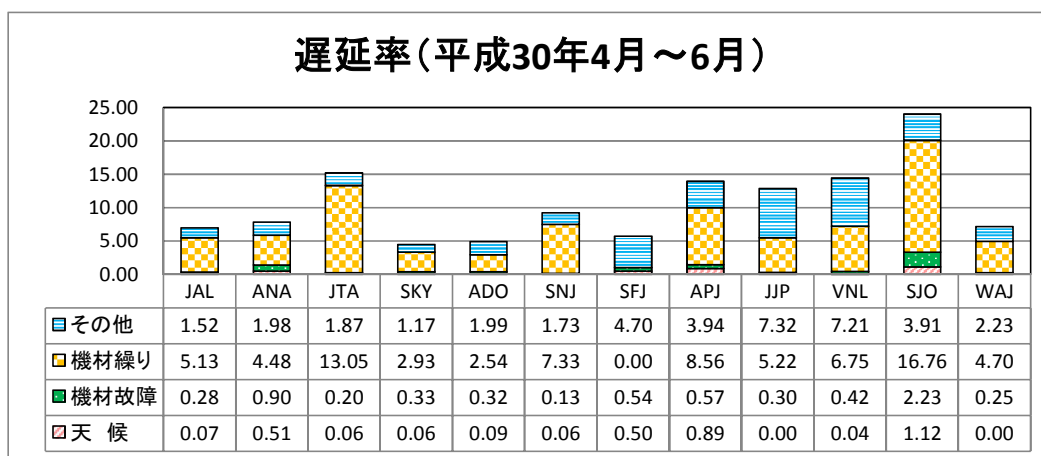
※エアアジア・ジャパンは平成29年10月29日より運航を開始

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

（1）遅延率（平成30年4～6月）

当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
8.07%	7.91%	0.16ポイント上昇

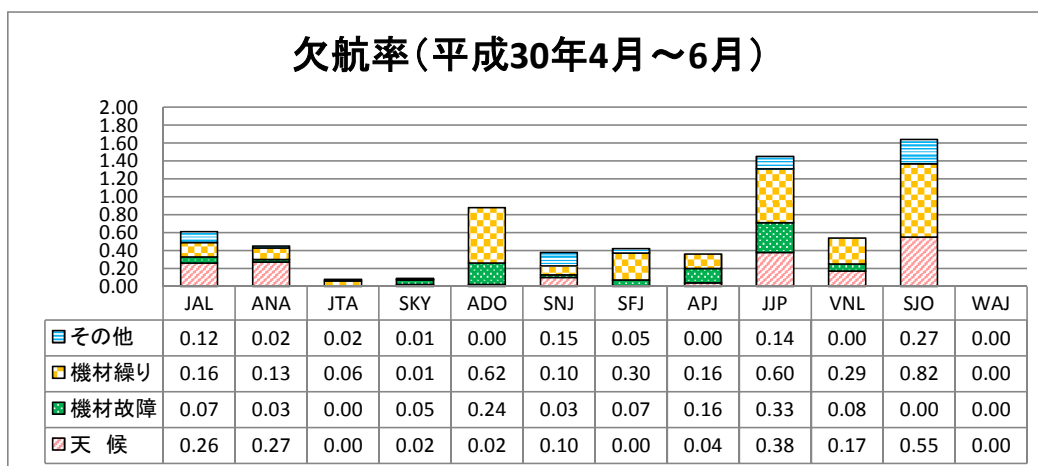
※「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

（2）欠航率（平成30年4～6月）

当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
0.52%	0.64%	0.12ポイント減少



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績（平成30年4月～6月）

項目	当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
平均搭乗区間距離	929km	929km	-
輸送人員	2407万9583人	2332万2991人	3.24%増
輸送人キロ	223億6016万人km	216億7438万人km	3.16%増
旅客収入	3188億13百万円	3128億3百万円	1.92%増
輸送人員あたり 旅客収入	13.2千円	13.4千円	1.49%減
輸送人キロあたり 旅客収入	14.3円	14.4円	0.69%減

(2) 路線別データ（平成30年4月～6月）

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

	当期実績	前年度同期実績
1位 東京＝札幌	220万2042人	(212万7246人)
2位 東京＝福岡	208万4595人	(202万0636人)
3位 東京＝大阪	138万7840人	(132万3618人)
4位 東京＝那覇	125万9060人	(123万5446人)
5位 東京＝鹿児島	58万2095人	(55万3257人)
全路線	2369万1556人	(2301万5254人)

②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位 成田＝関西	89.3% (82.5%)
2位 関西＝鹿児島	89.2% (88.9%)
3位 関西＝宮崎	88.5% (85.2%)
4位 関西＝仙台	86.5% (92.8%)
5位 成田＝熊本	84.8% (83.3%)
全路線	69.9% (68.7%)

下位5路線は次のとおり。

1位 函館＝奥尻	32.5% (39.1%)
2位 福岡＝徳島	39.4% (44.2%)
3位 札幌＝釧路	40.3% (41.0%)
4位 長崎＝那覇	44.9% (45.3%)
5位 中部＝女満別	45.9% (54.9%)
全路線	69.9% (68.7%)

3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成30年4～6月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった特定本邦上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールズ（提供座席数を上回る予約客を受け付けること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	ソラシドエア	3.54人	1.39人
②	全日本空輸	1.75人	1.08人
③	AIRDO	1.74人	1.07人
	全社平均	1.26人	1.02人

※今回の公開項目の詳細、及び過去の公開資料につきましては、国土交通省のホームページ上にてご確認頂けます。

(URL)http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000727.html